

全国からの開通情報

(東北支部)

東北中央自動車道 相馬福島道路(相馬玉野IC⇨霊山IC) 開通



▲ 相馬福島道路 月館高架橋

平成30年3月10日に東北中央自動車道 相馬福島道路の相馬玉野IC⇨霊山IC(延長17km)が開通しました。本道路は東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。今回の開通で福島市から相馬市までの移動時間は約10分短縮されました。

福島県伊達市の霊山IC付近で催されたセレモニーには安倍晋三首相や石井啓一国土交通大臣など360人が出席し、テープカット、くす玉開披、パレードで道路の開通を祝いました。

鷹巣大館道路(大館能代空港IC⇨鷹巣IC) 開通

平成30年3月21日に鷹巣大館道路の大館能代空港IC⇨鷹巣IC(延長1.7km)が開通しました。これにより鷹巣大館道路(総延長13.9km)は全線開通となりました。

秋田県北秋田市の大館能代空港IC付近で催された開通式には石井啓一国土交通大臣など約230人が出席しました。

その他

- ・宮城県 本吉気仙沼道路(大谷海岸IC⇨気仙沼中央IC)
- ・山形県 国道47号余目酒田道路(庄内町廻館⇨酒田市新堀)
- ・岩手県 三陸沿岸道路(田老真崎海岸IC⇨岩泉龍泉洞IC)
- ・山形県 東北中央自動車道(大石田村山IC⇨尾花沢IC)

(関東支部)

秦野大井線 篠窪バイパス 開通

平成30年3月10日に秦野大井線篠窪バイパス(延長0.9km)が開通しました。これにより県道708号(総延長6.1km)は全線開通となりました。このバイパスは市町境付近から篠窪隧道東側付近を結び、通過交通が増加している国道246号の混雑緩和が期待されます。

神奈川県大井町の篠窪大橋で催された開通式には地方自治体関係者など約200人が出席しました。



▲ 秦野大井線 篠窪大橋

その他

- ・神奈川県 新東名高速道路(海老名南JCT⇨厚木南IC)

(関西支部)

新名神高速道路(川西IC⇨神戸JCT) 開通

平成30年3月18日に近畿自動車道名古屋神戸線「新名神高速道路」の川西IC⇨神戸JCT(延長16.9km)が開通しました。これにより高槻JCT⇨神戸JCT(総延長40.5km)が全線開通となり、宝塚トンネル付近の渋滞緩和と、休日朝夕時間帯で最大50分の移動時間短縮が期待されます。

兵庫県宝塚市の宝塚北SAで催された開通式には石井啓一国土交通大臣や地方自治体関係者など約600人が出席しました。



▲ 新名神高速道路 生野大橋



▲ 朝山・大田道路 開通式

(中国支部)
朝山・大田道路(大田朝山IC〜大田中央・三瓶山IC) 開通

平成30年3月18日に山陰自動車道朝山・大田道路の大田朝山IC〜大田中央・三瓶山IC(延長6・3km)が開通しました。今回の開通で、急カーブや急勾配が続く国道9号の代替路となることが期待され、救急患者の搬送時間が短縮される見通しです。

島根県大田市の大田中央・三瓶山ICで催された開通式ではテープカット、地元の園児らが一斉に風船を放つバルーンリリースなどが行われました。

浜田港福井地区臨港道路 開通

平成30年3月31日に浜田港と山陰自動車道・浜田港ICを結ぶ浜田港福井地区臨港道路(延長1・4km)が開通しました。これにより約10分かつていた浜田三隅道路の浜田港ICまでの移動時間は約3分に短縮され、周辺道路の渋滞緩和が期待されます。

島根県浜田市のサンマリン浜田で催された供用式典では地元児童によるテープカット、くす玉開披、中学生による神楽舞などが行われました。

(四国支部)
空港連絡道路 県道円座香南線(中間工区) 開通

平成30年3月4日に空港連絡道路



▲ 空港連絡道路 開通式

県道円座香南線の中間工区(延長3・0km)が開通しました。平成31年度から実施予定の香南工区工事が完成すると、高松西IC〜高松空港のアクセス向上や並行幹線道路の渋滞緩和が期待されます。

香川県高松市の西山崎高架橋付近で催された開通式には浜田恵造知事や地方自治体関係者など約120人が出席し、テープカット、くす玉開披、記念ウオーキングなどが行われました。

(九州支部)
国道3号博多バイパス(下原〜多々良中学校西交差点) 開通

平成30年3月17日に国道3号博多バイパスの下原^{しもはら}〜多々良中学校西交差点(延長3・3km)が開通しました。これにより博多バイパス(総延長7・7km)は全線開通となり、福岡空港などへの移動時間短縮が期待されます。

香椎高架橋付近で催された開通式には松山政司一億総活躍担当大臣や地方自治体関係者など約250人が出席しました。

沖縄西海岸道路(浦添北道路・臨港道路浦添線) 開通

平成30年3月18日に沖縄西海岸道路の宜野湾市宇地泊〜浦添市西洲

(総延長4・5km)が開通しました。この道路は浦添北道路(宇地泊〜港川)と臨港道路浦添線(同〜西洲)の総称です。今回の開通で那覇空港と沖縄コンベンションセンター間のアクセス向上が期待されます。

沖縄県浦添市の浦添北IC付近で催された開通式には福井照内閣府特命担当大臣などが出席しました。



▲ 浦添北道路 (提供: OKINAWA41)
※<https://www.okinawa41.go.jp/reports/5713/>を加工して作成

その他

- ・鹿児島県 都城志布志道路(有明道路)(有明北IC〜有明東IC)
- ・宮崎県 東九州自動車道(日南北郷IC〜日南東郷IC)
- ・佐賀県 唐津伊万里道路(南波多谷口IC〜伊万里東府招IC)

平成30年度の本部主催の 意見交換会テーマ等決まる

PC建協本部では、平成30年度の各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局との意見交換会について、基本となる提案テーマを次のとおり決定しました。

なお、意見交換会は7月から10月にかけて開催される予定です。

- ①年度工事量の安定的な確保
- ②働き方改革の推進
 - ・ 週休2日モデル工事の検証と課題
 - ・ 若手の活用を推進する入札制度の提案
- ③生産性向上の推進
 - ・ プレキャスト技術の採用拡大
 - ・ ICT技術の活用
- ④インフラ長寿命化への対応
 - ・ 技術提案・交渉方式の工事発注
 - ・ 地方自治体への支援

安全対策の取組みについて

平成29年9月に発生した支保工解体時の墜落死亡災害を受けて、PC建協は会員企業へ再発防止の注意喚起と、高所での足場や支保工等の組立・

解体作業を行う現場を対象に緊急安全点検を実施するなど、墜落災害の再発防止策を講じました。

しかし、同年12月末には元請け職員（現場代理人）が夜間の悪天候下での現場点検中（単独）に足場から墜落する死亡災害が発生しました。

これを受けて、年明けより全支部において緊急安全講習会を実施するとともに、同内容の周知会を会員企業の現場職員を対象に行いました。また、重篤災害撲滅に向け、新たな取組みを開始しました。

【重篤災害撲滅に向けた新たな取組み】

2件の墜落災害の総括を踏まえ、3つの新たな取組みにより重篤災害の撲滅を目指します。

1つ目はICTを活用した災害事例・ヒヤリハット事例の会員各社への展開です。労働安全衛生総合支援システムのWEB版を共有活用します。

2つ目は、現場作業員の安全意識向上として、セーフティリーダーカードの交付です。登録制にすることで安全意識の向上を図ります。

3つ目は、新技術の積極採用です。ユニット式支保工など高所作業が削減され、安全性を向上させた足場・支保工やウェブカメラを用いたモニタリングシステムなど新技術の採用を推進します。

PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

【九州支部】

平成30年1月16日と23日に、熊本大学工学部社会環境工学科の3年生約40人に「プレストレストコンクリート入門」と題した講義を行いました。内容は1回目がPCの概要、PC橋の設計概要、演習問題の提示、PC橋施工事例。2回目が演習問題の解説とPC構造物の事例紹介でした。特に施工動画やアニメーションを使った説明はわかりやすいと好評でした。



▲ 資料を読み込む熊本市立大学の学生たち

【関西支部】

平成30年1月16日と23日に、大阪産業大学工学部都市創造工学科の3年生に「都市創造最前線」と題した講義を行いました。1回目は学生約80人にPC技術の基礎知識、概要、用途について、2回目は学生約60人に設計概要の解説後、演習問題に取り組みました。橋梁などの身近な構造物で使用されている技術であり、親近感を持って聞いていました。

また1月29日には舞鶴工業高等学校門学校建設システム工学科の4年生39人に、PC技術誕生の歴史、PC部材の製作と特徴、PC橋の種類についての特別講義を行いました。



▲ 興味深く講義を受ける大阪産業大学の学生たち

その他

・ 2月1日 大阪工業大学工学部

【関東支部】

平成30年1月19日に中央大学理工学部2年生約80人にPC技術に関する講義を行いました。まず講師からPC業界の企業や仕事内容を含めた概要、次に現場写真を交えながらPCの施工を解説しました。最後に緊張実演と、PC鋼材や支承材のサンプルを紹介しました。学生たちは興味深そうに大小さまざまなサイズの鋼材を手にとって観察していました。



▲ 機器に興味を示す中央大学の学生たち

その他

- ・1月16日 国土館大学理工学部
- ・1月22日 千葉工業大学創造工学部
- ・1月22日 日本大学理工学部交通システム工学科
- ・1月25日 長野工業高等専門学校

【北陸支部】

平成30年1月29日に新潟大学工学部建設工学科3年生23人に「PCの概要について」と題した講義を行いました。内容はPC建協の紹介、建設業の仕組み、PCの概要・施工、新潟県内のPC構造物の紹介でした。



▲ PC技術に関心を寄せる新潟大学の学生たち

【北海道支部】

平成30年2月2日に北見工業大学社会環境工学領域で「PCセミナー」を開催しました。このセミナーは北海道土木技術会コンクリート研究委員会との共催です。講義では模型や動画で道内の既設PC構造物、最先端のPC技術、PCの設計方法や架設方法について紹介しました。

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

【中部支部】

平成30年2月9日に滋賀県甲賀市のピー・エス・コンクリート(株)滋賀工場でPC技術の理解を深めてもらうことをテーマとした技術講習会が開催されました(主催：三重県土木整備部)。PC建協は県、市、町の職員など12人を対象に「PCの原理と特徴・PC橋の架設及び発注時の留意点・点検時の基礎知識」と題した講習とプレテン桁やUコンポ桁といったPC部材の製作状況などの工場見学を行いました。



▲ PC部材の製作状況を見学する参加者

【九州支部】

平成30年2月9日に福岡県福岡市



▲ 福岡県職員への講習会の様子

の粕屋総合庁舎で福岡県職員を対象に行われた「平成29年度技術主査研修(主催：福岡県土木整備部)」で「PC橋の架設に関する留意事項について」と題して講義しました。内容は、昨年の九州北部豪雨についてのPC建協の取り組み、PC橋の構造形式、架設・積算、各架設工法や架設機材を使用する際の留意点の解説でした。

【東北支部】

平成30年2月1日に山形県山形市の村山総合支庁で開催された「山形県橋梁技術に関する学習会(主催：山形県)」で、PC建協は山形県職員など約40人を対象に「PC橋に関する積算」について講義を行いました。

また平成30年2月16日に秋田県秋田市の秋田県建設・工業技術センター

で秋田県と市町村職員56人を対象に行われた「鋼橋・PC橋技術研修会（主催…同センター）」でPC技術の紹介とPC橋梁の点検要領の講義を行いました。内容は「PCと鋼との複合・混合構造」、「プレキャスト化」、「PC鋼材の技術」、「コンクリート構造物の損傷の種類と特徴」、「コンクリート橋の損傷事例」、「PC橋梁の補修・補強工法」、「PC橋梁の点検ポイント（着目点含む）と調査方法」などでした。



▲ PC橋梁の点検要領の講義模様

【北陸支部】

平成30年3月2日に福井県福井市の福井県中小企業産業大学校で自治体職員、コンサルタント、施工業者など50人を対象に「PC構造物の施工と維持保全に対する実務講習会（主催…PC建協）」を行いました。内容は、損傷橋梁の対応事例、PC構造

物の維持保全の基本、維持保全計画、診断、福井県における対策事例の紹介などでした。



▲ 熱心に受講する参加者たち

その他、平成30年1月以降に実施した講習会は次のとおりです。

開催日	支部名	主催	名称	対象	講義内容
1月17日	関東	茨城県	技術講習会	県職員	PC橋の概要、点検、保守
1月26日 2月21日 2月22日	関東	栃木県	工場見学会	県職員	工場見学会

現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

【関東支部】

平成30年2月1日に神奈川県伊勢原市の「新東名高速道路伊勢原高架橋（PC上部工）」の工事現場で東海大学工学部土木工学科の学生など20人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋は橋長581m、最大支間長41・5mのPC14径間連続プレキャストU桁橋（架設桁架設／三井住友建設・ドービー建設工業JV）です。

当日は事業概要と工事進捗を説明後、U桁の製作ヤードでコンクリート打設状況など施工中のPC構造物



▲ 架設装置・架設方法について説明を受ける学生たち

や建設機材の見学を行いました。

【九州支部】

平成30年2月25日に宮崎県宮崎市の「昭和通線小戸之橋新橋設置工事（上部工Ⅰ工区）」の工事現場で近隣の子どもたちと保護者の約50人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋は橋長506m、幅員16mの7径間ポストテンション方式PC連続箱桁橋（片持架設工法／ピーエス三菱・山崎・戸敷JV）です。

当日は事業概要と工事進捗を説明後、施工中のPC構造物や建設機材の見学を行いました。気温の低い雨天の中での開催となりましたが、子どもたちは元気いっぱい施工の様子に興味津々に見学していました。



▲ 新小戸之橋を見学した子どもたち



▲ 最優秀賞作品の「長池見附橋(旧四谷見附橋)」
(長さ104×奥行き45×高さ45cm、重量5kg)

平成29年度高校生 「橋梁模型」作品発表会

平成30年2月14日に仙台市青葉区のせんだいメディアテークで「第16回高校生『橋梁模型』作品発表会」が行われました。

今年は27点の応募がありました。今回はその中から12点の入賞作品が展示され、模型審査、約260人の来場者投票、高校生によるプレゼンテーション審査の結果、秋田県立大館桂桜高等学校の「長池見附橋(旧四谷見附橋)」が最優秀賞を受賞しました。また優秀賞には青森県立弘前工業高等学校の「宇治橋」と仙台市立仙台工業高等学校の「鶴の舞橋」が選ばれました。

PC建協東北支部では初年度から本発表会の実行委員会の一員として参加しています。

平成30年度各種講習会日程

第26回プレストレストコンクリート 建築技術講習会(PC建協主催)

【題目】

①刈谷市立刈谷東中学校

「躯体のPCa化による高品質な学校建築」

②日本郵政グループにおけるPCa PC造の設計と施工の取り組み

「PCS構造を採用した免震事務所ビルの構造設計を中心として」

③伊予市本庁舎

「PC部材によって設計された地域に開かれた庁舎」

④須賀川市庁舎

「みんなの家」

【開催日・会場】

平成30年6月22日(金)13時～17時

(メイン会場) 建築会館大ホール

(サブ会場) ネット中継

AP大阪梅田茶屋町

第46回プレストレストコンクリート 技術講習会(PC工学会主催)

【テーマ】

日本の誇れるPC技術

【題目】

①「コンクリートの耐久性実証へのチャレンジ」

②「優れた造形性を生み出すPC」

a PC技術

③「高速道路の取組み～新名神・新東名のPC技術」

④「コンクリート鉄道橋の施工技術」

⑤「PC技術の国際動向」

【開催日・会場】

開催日	会場
6月 1日(金)	東京・江東区文化センター
6月 5日(火)	仙台・イズミティ21
6月 6日(水)	大阪・エル・おおさか
6月 8日(金)	名古屋・ウィルあいち
6月12日(火)	高松・ホテルパールガーデン
6月13日(水)	広島・広島市西区民文化センター
6月15日(金)	札幌・ホテル札幌ガーデンパレス
6月22日(金)	新潟・新潟県自治会館
6月26日(火)	福岡・福岡国際会議場

第8回PC工事技能実習

(PC工事業協会主催)

【開催日・会場】

平成30年10月16日(火)～18日(木)

富士教育訓練センター

平成29年度のPC建協会員の受注実績は、PC建協ホームページの「一般向け情報」に掲載しております。

編集委員会

上野 進一郎(編集委員長)、 樫福 浄(副委員長)、
高松 正伸(副委員長)、 鈴木 裕二、 吉山 誠之、 竹本 伸一、
的場 純一、 深谷 浩史、 松嶋 憲昭、 石井 一生

編集幹事会

久我 誠志(幹事長)、 小谷 仁(副幹事長)、 荒畑 智志(副幹事長)、
小出 武、 栗川 修、 南 浩郎、 三本 竜彦、 木下 拓三、 菅野 隆、 太田 誠、
清水 郁子、 上田 孝明、 寒川 勝彦、 杉村 卓也、 岩崎 麻美、 小田切 隆幸

編集後記

明治維新の原動力となる多くの志士を生み出した山口県の萩市、下関市を訪れ、取材を行いました。天候にも恵まれ、萩市では江戸時代末期における萩藩の教育水準の高さやその時代の人々の気概が感じられました。その後、下関へ移動中に青海大橋、角島大橋、彦島大橋等の離島に架かる橋を見学し、橋梁の架橋による地域経済への貢献を実感しました。下関市では、北九州市と同一の都市圏を形成する山口県最大の都市である近代的な雰囲気と、歴史の舞台となった建造物や街並み等の趣のある雰囲気の両方を堪能できました。

特別企画の『働き方改革』は、PC業界としてもスピード感を持って取り組むべき課題であり、読者の方に興味を持って読んでいただければ幸いです。『明日を築くプロジェクトの風景』では東日本大震災から7年を経過した東北地方の復興が感じられたでしょうか。

今後も様々な話題に取り組み、多くの方に興味を持っていただける広報誌を製作してきたいと思います。

(小田切)